

令和6年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月24日

事業所名：育ちの広場すてっぴ

保護者等数30

回収数30

回収率 100%

区分	チェック項目	はい	どちらかといえば	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	77%	17%	0%	7%	<ul style="list-style-type: none"> 同じ時間に重ならないよう工夫していると思う 活動中の様子は断片的にしか見ていないので判断しかなるが、工夫して確保して頂いている印象 	<ul style="list-style-type: none"> 設置基準を満たしている広さではありますが、高等部生や職員が室内に複数いると狭いと感じる方もおられるかと思えます。グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、室内の活動に必要なスペースを確保して取り組んでいます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	77%	10%	0%	13%	<ul style="list-style-type: none"> 配置数が多めかと思う時がある。 いつも先生が話を聞いてくれてはるなど、子供話を聞いて思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 配置数も基準を満たしており、また必要に応じて基準上回る職員を配置して、必要な個別対応をしております。また年6回以上の研修を実施して支援に臨んでいるところですが、より専門性を高めていけるよう研鑽してまいります。
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	67%	7%	0%	27%	<ul style="list-style-type: none"> そのような視点で注視したことがなく、わからないが、不便、危険を感じたことはない。（私もちも身体障がい無し） 	<ul style="list-style-type: none"> 車いすでもスムーズに入入り・移動できるよう配慮しております。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 毎日コツコツ作業やパソコンの時間があり、助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画の検討会議をかならず開くようにして、常勤職員全員で検討しています。支援項目や支援内容を面談の中で分かりやすく伝えるとともに、保護者様のご意見を反映させて作成しています。今後も保護者様一人ひとりの思いを聞き取りができるよう努めてまいります。
	5 活動プログラム*が固定化しないよう工夫されている	97%	3%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状況によると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの状況により変化の少ないプログラムでの活動をするもありますが、基本的には固定化しないように今後も工夫してまいります。
	6 地域のイベントに参加及び地域の障害のない子どもと活動する機会を設けている	60%	7%	0%	33%	<ul style="list-style-type: none"> 屋外での活動については地域の公園での遊具利用やルールのある遊びを積極的に提供しています。その中で、地域のお子さんと一緒に鬼ごっこなどのゲームを一緒にしたり、ブランコなどの遊具を交代して楽しく遊べるように努めています。 地域のイベントが楽しめるお子さんについてはイベント参加の機会を提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント（向日市保健センター「あそびの広場」、京都環境フェスティバル、済生会フェアなど）が楽しめるお子さんは積極的に参加の機会を提供してきました。 公園など、地域のお子さんと一緒に場で過ごす中で、自然と地域のお子さんが遊びに加わってきたときは、事故のないよう配慮しながら、関わりを大事に支援しています。最近、このような関りが増えてきています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 他のデイではないような丁寧な説明でわかりやすい。 	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができています	100%	0%	0%	0%		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されている。また、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	77%	0%	0%	23%		<ul style="list-style-type: none"> 苦情体制についてはマニュアル化していますが、徹底が不十分な面があり、今後どの職員も迅速、適切に対応できるよう研修を重ねてまいります。
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	100%	0%	0%	0%		
	13 個人情報保護に十分注意している	93%	3%	0%	3%		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取扱いについては十分留意していますが、気になることがございましたらお声かけいただくと助かります。

非常時等の対応	14	緊急時等の対応マニュアルを保護者に配布・周知している	90%	0%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時等の対応マニュアルは配布していますが、不十分な点があるとお感じの保護者様もおられるかと思ます。緊急時に適切な対応が取れるよう職員全員で研修してまいります。
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> きちんとされていて徹底されている。
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしている	93%	3%	0%	3%	<ul style="list-style-type: none"> とても楽しみに利用ができていて満足している。 楽しく通ってます。 いろいろな場所へ連れて行ってもらえるから楽しいと言っています。
	17	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 送りの先生がその日の様子をもう少し知っていてほしい。 学校と連携してもらいとても満足している。 親子共々満足しています。 親子共々、本当にお世話になり、すてっぷさんに出会えてなかったら、、と思うとゾッとします！いつもたくさんの愛情をありがとうございます！！ 子供たちを理解し適切に支援してくださっているのでもいつも感謝しています。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和年度放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和7年3月24日

職員数：常勤6非常勤7

事業所名：育ちの広場すてっぷ

回収数：常勤6非常勤7

回収率：100%

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	85%	15%	0%	・グループでの公園遊びなど、室外・室内の活動を工夫して組み合わせ、スペース確保に努めました。	・今後も外出活動との組み合わせでスペース確保に努めていきます。 ・必要に応じてグルーピングが進め、時間や曜日の変更を提案していきます。
	2 職員の配置数は適切である	77%	23%	0%	・定められた職員配置数に加えて専門職や非常勤職員を配置しています。	・配置された人数が多いと感じるという意見もいただきました。安全・安心を多担保しながら、多く配置することによる弊害を避けるように努めていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー配慮が適切になされている	100%	0%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)を、多くの職員が参画している	92%	0%	8%		・業務改善を進めるためのPDCAサイクルは常勤職員と勤務時間の多い非常勤職員で参画してきたが、今後は全職員に参画してもらえるように努めていきます。
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		・自己評価をHPで公開したが、非常勤職員から「見ていない」「第3者評価が誰だか分からない」という声がありましたので、事業所内で回覧し全職員が課題や改善策を共有できるように努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の通信やホームページ等で公開している	92%	8%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	92%	8%	0%		
	8 職員の資質を向上させるために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	・毎日の打ち合わせ後に必要に応じて常勤・非常勤職員で研修を行い、専門性の向上を図りました。	・左記の研修以外にも、研修のみを資質向上野の為の研修を積み重ねていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	92%	0%	8%	・常勤・非常勤が参加する日々の打ち合わせで、アイデアを募りました。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	・不定期であったが、常勤職員で活動プログラムの立案会議を行いました。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	92%	8%	0%		
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	100%	0%	0%		
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	92%	8%	0%		
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	85%	15%	0%	・常勤職員では毎日会議を開き、前日の振り返りを行うように努め、非常勤職員も毎日の打ち合わせの中で必要に応じて振り返りを行いました。	・毎日の打ち合わせの中で振り返りを行うようにし、非常勤職員も振り返りできることを増やしていく。また毎日の記録をつけているが、常勤職員との共有を機会を増やしていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	92%	8%	0%		
	18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%	0%	0%			

区分	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしいものが参画している	100%	0%	0%		
	21 学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	92%	8%	0%		
	22 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている					
	23 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	92%	8%	0%	・今年も法人全体で乙訓障がい者虐待防止センターから講師を招いて全職員を対象に研修を行いました。	・連携したことは支援計画に記載、または別紙を添付し、非常勤職員も確認できる職員スペースに置くようにします。
	24 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	100%	0%	0%		・連携したことは支援計画に記載、または別紙を添付し、非常勤職員も確認できる職員スペースに置くようにします。
	25 子育て支援として、保護者に対して助言・指導（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	92%	8%	0%	・今年度はペアレントトレーニングで行う資料を持ちいい保護者支援を行った。また、必要に応じて事業所内で相談に応じ、保護者に助言・指導を行いました。	・今後も必要に応じて面談などで保護者への助言・指導を行っていく。ペアレントトレーニングについては実現可能か検討を続けます。
保護者への説明責任等	26 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	92%	8%	0%		
	27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている					
	28 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	92%	8%	0%		
	29 定期的に通信等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	92%	8%	0%		
	30 個人情報に十分注意している	92%	0%	8%		・職員間で共有された個人情報が支援に不要ではないかを感じたとのご意見をいただきました。個人情報を共有する際は、会議や打ち合わせなどで必要な情報の共有に努め、支援にどうつなげるかまで共有いたします。
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
非常時等の対応	32 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	92%	8%	0%		
	33 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	34 事前に服薬や予防接種、てんかん発作	92%	8%	0%		
	35 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		
	36 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	92%	8%	0%	・地域施設での買い物活動や、地域施設への避難訓練を行いました。	・左記の活動を続けていくとともに、地域施設で住民に関われる機会を模索していきます。
	37 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%		
	38 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		

令和6年度自己評価と保護者評価について 第3者意見

評価日 : 令和7年3月24日

第3者評価者名 : 山川秀一

事業所名 : 育ちの広場すてっぴ

区分	評価	助言
環境・体制整備	3つの事業所の中でも一番幅広い視点での環境づくりや工夫が必要な場になると思います。その都度人数も時間も場面も変わる中で、支援が効果的にできるような経験を蓄積してきていると思います。	すてっぴでの取り組み方が他の事業所との連携になることを期待しています。目に見える環境や体制整備だけではなく、目に見えない支援や配慮のあり方をすてっぴから発信してほしいと思います。
適切な支援の提供	支援計画や取り組み方にも幅広さが求められていると思います。発達の状況によって支援の内容を考えていくことと特性に合わせていくことを意識して取り組まれていると感じます。	インクルージョンの視点（包み込まれている安心感や学びの多様性など）がよく言われています。支援や配慮が必要だからと少人数になったり個別化になったり、時には人手による支援になったりします。すぐには上手く行かないけれども、友達や仲間と一緒に過ごせる経験や自分から発信する経験を整理して、保護者や他の事業所にも伝えてほしい。
保護者への説明等	保護者に寄り添った相談や話し合い、計画の見直しや次への展望が大切にされているので、保護者の安心につながっていると思います。	保護者の困りや主訴をどう把握して、計画に落とし込むかを大事にされてきていると思います。日々の観察だけからでは分からない子ども達の発達の質や困りをどうアセスメントしていくか、何をもって客観的に把握していくか（場合によっては発達検査や質問紙・チェックリスト等）を提起しながら広げてほしい。
その他		